



# アプローチカリキュラムの編成

安来市教育委員会

## 編成の基本的な考え方

■カリキュラムの編成を新しくゼロから始めるのではなく、これまで行ってきた保育を「接続」を見通した視点で見直す

■「幼児期の終わりまでの育ってほしい幼児の具体的な姿」を踏まえて編成する

### ○学びの自立

「思考力の芽生え」・「豊かな感性と表現」・「自然とのかかわり」・「数量・図形・文字への関心感覚」・「言葉による伝え合い」

様々な体験から、いろいろな素材や材料を使い、工夫しながら自分の考えを生かして遊ぶ／「ひと・もの・こと」に進んでかかわり、実体験をして感じたことや物語や絵本などを通して感じたことでイメージを膨らませ、友だちと一緒に遊びを進めたり演じたりすることを楽しむ／友だちと歌ったり、踊ったり、合奏したりして、みんながそろって心地よさを感じる／身近な自然や現象に関心をもち、調べたり、疑問に思い試したりする／数字や文字、図形などを遊びに取り入れて楽しむ／生活の中で時計やカレンダー、数などを意識して過ごす／思ったことを相手にわかるように伝えたり、相手をわかろうとして聞き合ったりするなど、伝え合う喜びを感じる

### ○生活上の自立

「協同性」・「道徳心の芽生え」・「規範意識の芽生え」・「いろいろな人とかかわり」

友だちと考えを出し合ったり、調整したりしながら問題や課題を乗り越えようとする／友だちとねらいや目的をもちながら協力し合って活動する喜びを感じる／してよいことと悪いことがわかり、考えながら行動する／友だちと一緒に遊ぶ中でルールを作り、発展させながら決まりを守って遊ぶ／みんなの前で話したり、応じて答えたりすることに喜びを感じる／身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもち／様々な人に誉められたり受け止められたりする経験を通して、人とかかわりを楽しむ。

### ○精神的な自立

「健康な心と体」・「自立心」・「生命尊重・公共心」

自分から進んでうがいや手洗いをし、体の不調を詳しく話し、健康に気をつけようとする／活動の見通しをもち、衣服の準備など進んでできる／いろいろな運動遊びに取り組み、繰り返し挑戦したり友だちと一緒に活動したりすることを楽しむ／危険なものや場所、遊び方がわかり、状況を判断して気をつけて遊ぶ／健康や食べ物に関心をもち、何でも食べようとする／生活の流れや活動を知り、考えて動こうとする／様々な活動をする中で自分の力でやり遂げようとする／身近な動物の世話や植物の栽培を通して命の大切さに気付き、いたわったり大切にしたりする／身近なものを片付けたり、整理したりして大切に扱う・公共の場でのルールを守り、みんなで気持ちよく生活できるようにする

## 編成の手順

■これまでの教育課程について、「幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿」を元に、具体的なめざす子ども像を明確にし、その実現に向けた教育課程として再考する

■「三つの自立」を踏まえ、活動内容やねらいを整理し、指導計画に位置づける

○一人一人の自立心や自発性をはぐくむ中で、友だちと協同する経験を積み重ねる

○子どもが自らかかわり、気付き、次の活動を考えながら遊びを創造する

○子どもの心を揺さぶる「もの」「こと」などをどう設定するか、どんなかかわりをもたせるか、保育者はどのような働きかけをしていくかをしっかり検討し共通理解する